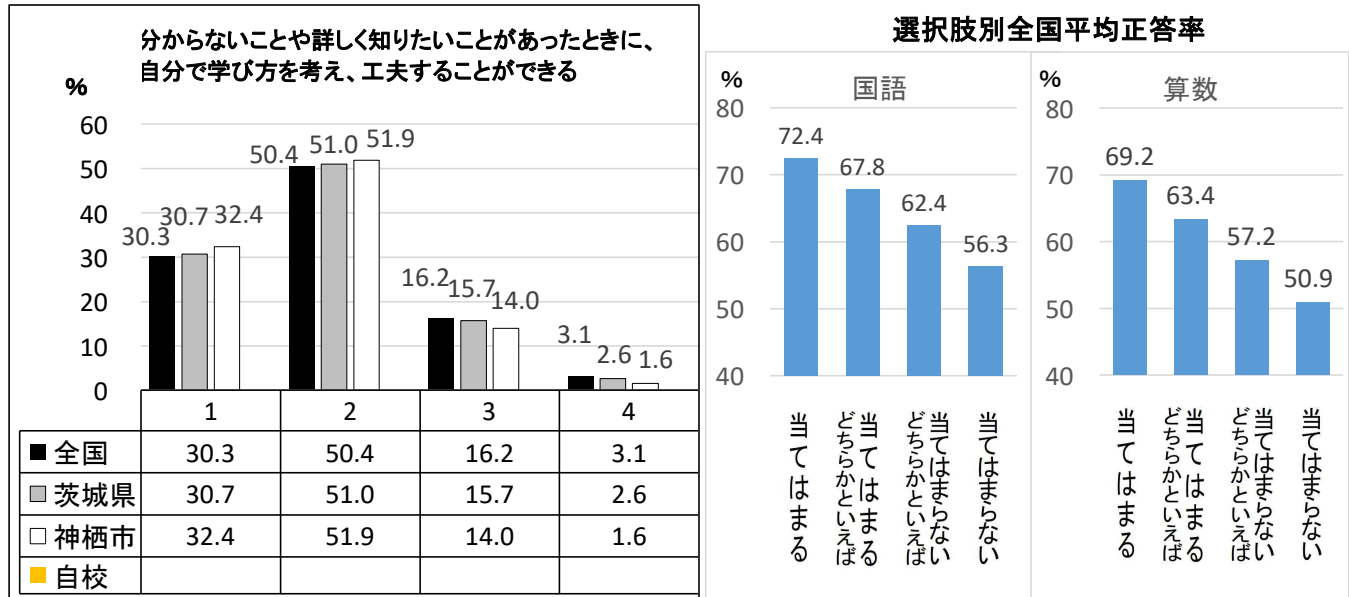


全国学力・学習状況調査の結果から見える学習・生活習慣と学力の関係

質問紙調査分析1(小学校)～質問紙の傾向と正答率～

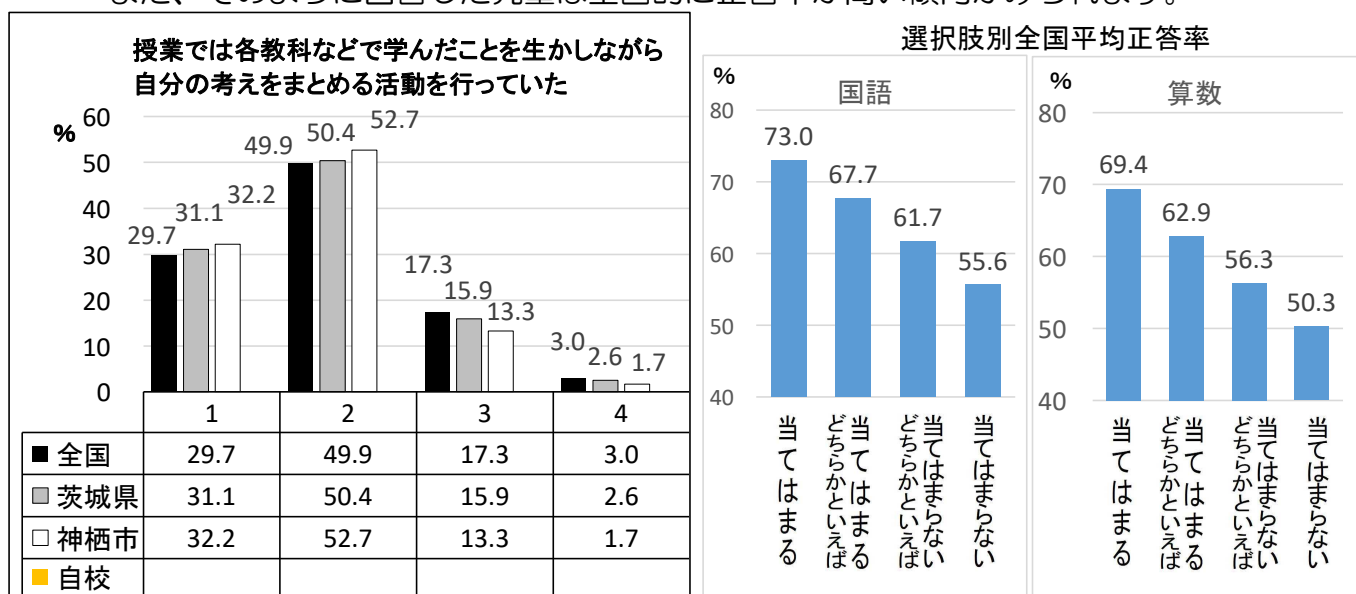
【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

【20】「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することができる」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の児童は、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」と回答した割合が84.3%で全国と比べて3.6ポイント高く、正答率も高くなっています。また、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した神栖市の児童の割合は85.8%で、全国と比べると3.9ポイント高くなっています。教師は、児童の立場に立つてつまづきを予想し指導・支援の方法を考え、児童の誰もが個別最適な方法で問題を解けるようにする必要があります。また、児童が自分の経験や知識を使って学習問題を解けるように問題を用意したり、既習事項を掲示したりしておくことも必要です。児童が既習事項を使って考えれば問題を自力解決できるという経験を重ねることで学ぶ意欲を育てることができます。

【31】「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

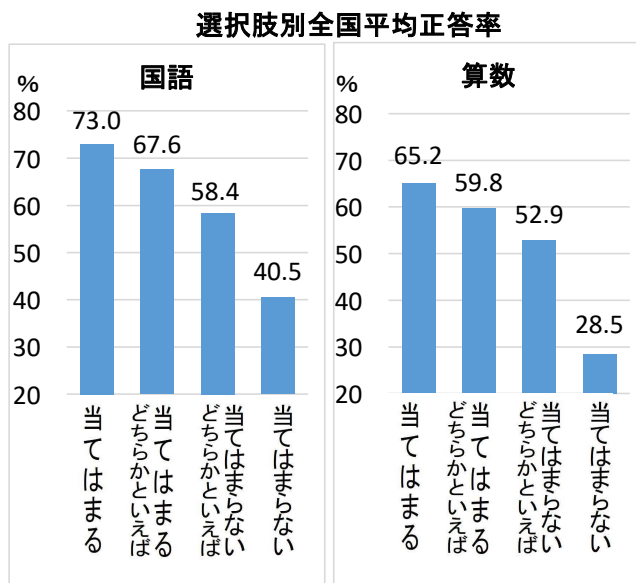
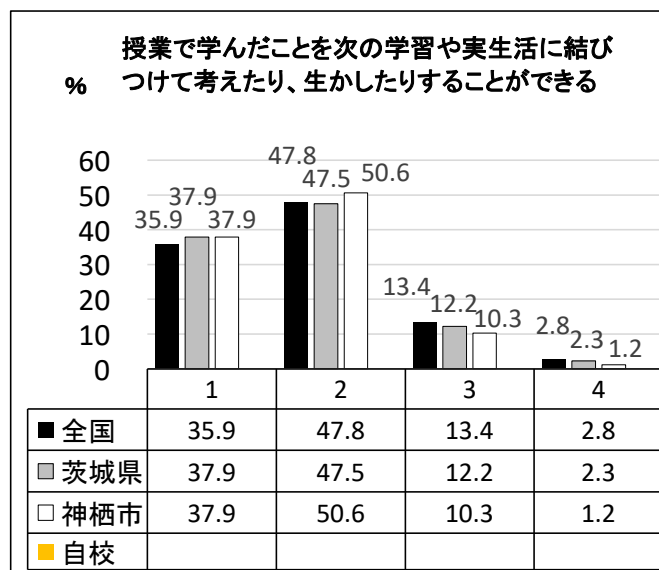


神栖市の児童は、「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した割合が84.9%で、全国と比べて5.3ポイント高く、正答率も高くなっています。学んだことをまとめることで思考力を育てることができます。学んだことをまとめるときに、各教科の見方・考え方を活かし、根拠を明確に筋道立てて再構成することで考えがすっきりしたり、相手に伝えやすくなったり、新たな発想や課題が生れたりします。国語科で培った能力を基本に、全ての教科で言語活動を充実していくことが必要です。

質問紙調査分析2(小学校)～質問紙の傾向と正答率～

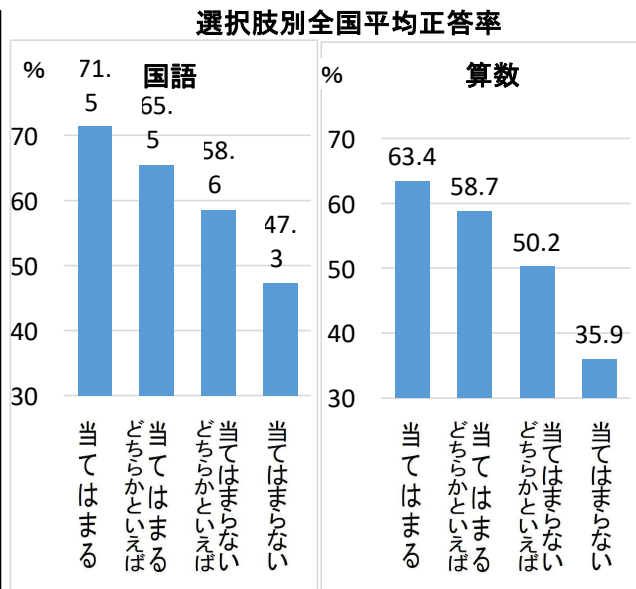
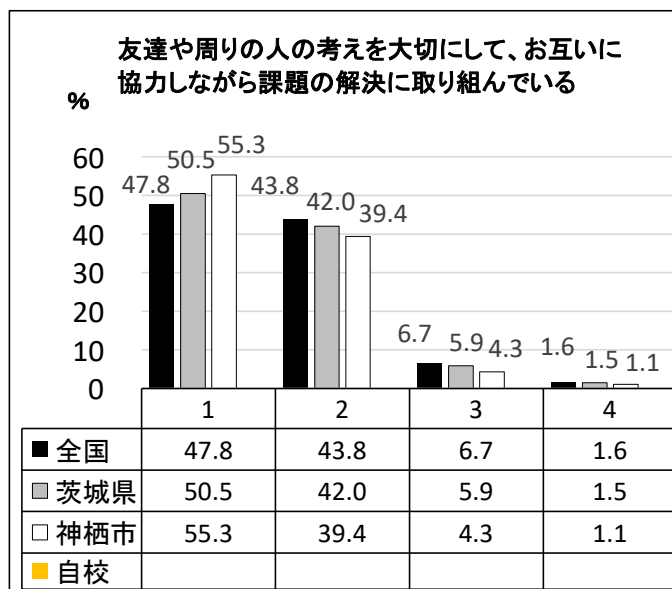
【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

【35】「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の児童は、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した割合が、88.5%で全国と比べて4.8ポイント高く、正答率も高くなっています。基礎的・基本的な知識・技能を活用し、思考・判断・表現することで課題を解決していく学びは、学力の向上につながると言えます。児童自らが、他の学習や生活に結び付けて学習課題・学習計画・学習活動を考え、学びの意味や価値を振り返ることで達成感や自己の成長、学力の向上を実感できる主体的な学びをすることが大切です。

【37】「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

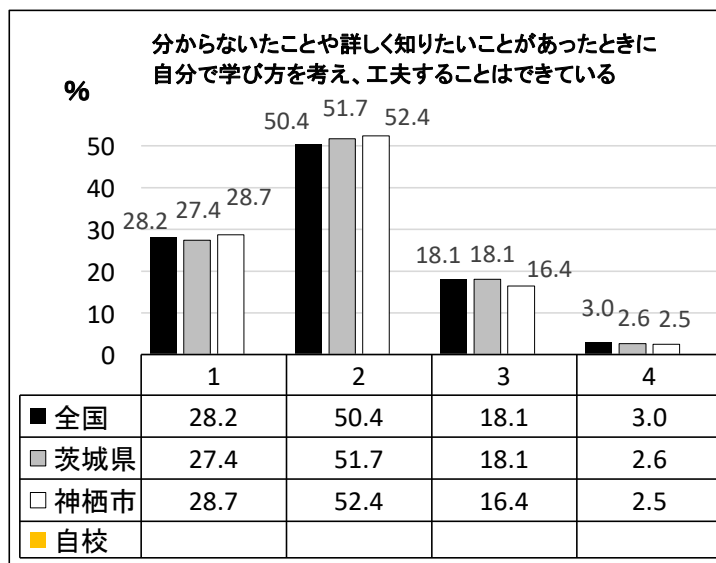


神栖市の児童は、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した割合が94.7%で全国と比べて3.1ポイント高く、正答率も高くなっています。このことから、「協働的な学び」の充実が学力の向上につながっていると言えます。教師の話聞く受動的な学習よりも、自力解決をする学習、他の人に教えたり他の人の考えを理解したりするグループワーク、複数の考えを統合・発展させてよりよい解決方法を見つけるクラスワークを取り入れることが必要です。協働的には、自分から周りに働きかけるという意味があり、他の人の考えや価値観を理解し使ったり、尊重したりなどを通して、チームワークやリーダー性を養い、学びに向かうよりよい集団をつくることができます。

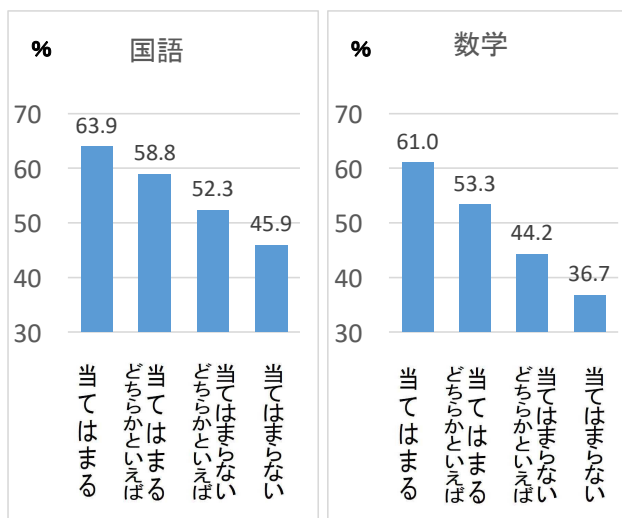
質問紙調査分析3(中学校)～質問紙の傾向と正答率～

【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

【20】「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



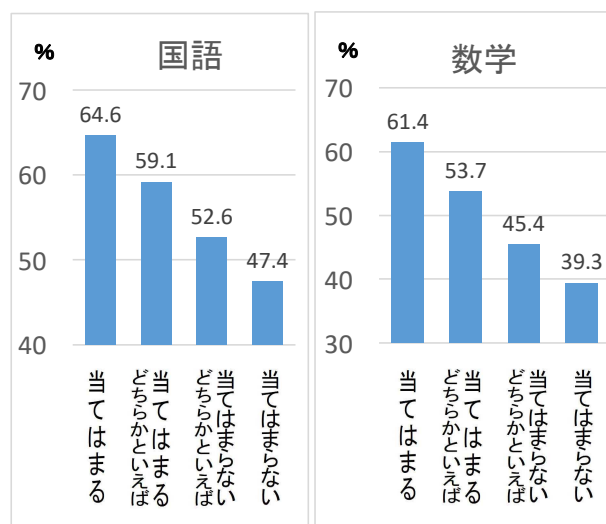
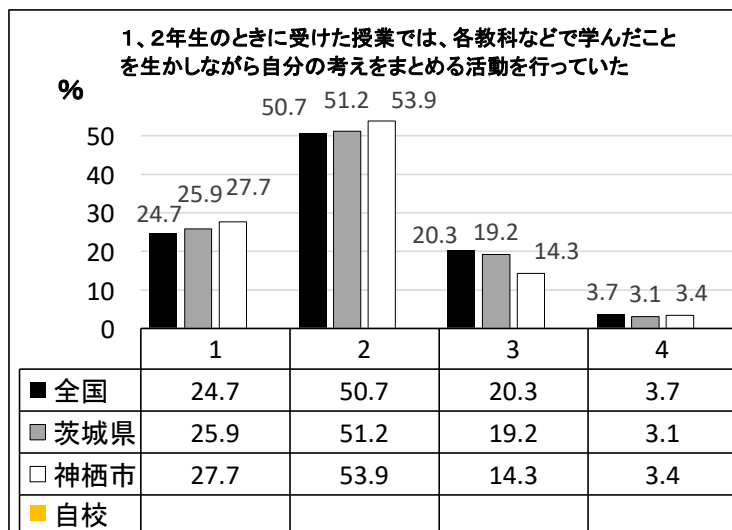
選択肢別全国平均正答



神栖市の生徒は、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した割合が81.1%で全国と比べて2.5ポイント高く、正答率も高くなっています。生徒が主体的に、課題の自力解決を目指した「個別最適な学び」の充実が大切です。教師は、生徒の誰もが自力解決できる学習問題を用意する必要があります。また、生徒のもつ既習の知識だけで問題を解く方法を考えておく必要があります。さらに、適切な既習の知識を用いることができない生徒の立場に立って、経験や素朴な方法を使って解くことができるように考えたり、既習事項を掲示等したりすることが必要です。

【31】「(1、2年生のときに受けた)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

選択肢別全国平均正答



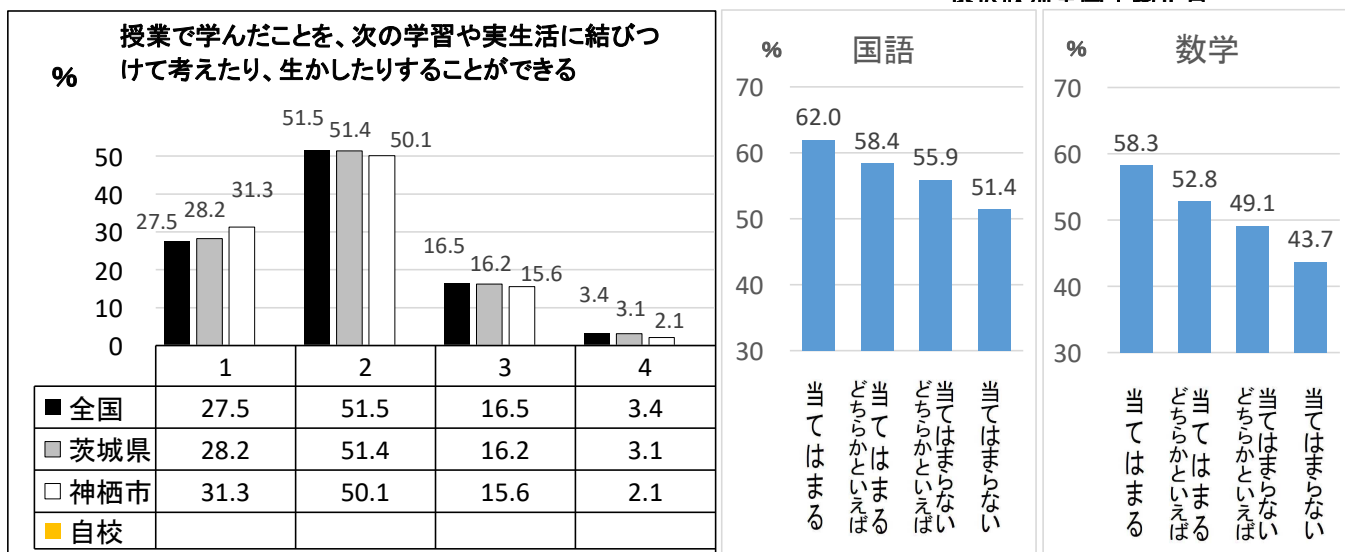
神栖市の生徒は、「1、2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した割合が81.6%で全国と比べて6.2ポイント高く、正答率も高くなっています。学校質問紙調査の結果でも、「前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けていた」と回答した神栖市の中学校の割合が100%で、全国と比べて21.4ポイント高くなっています。まとめる活動では、友達の発表や考えをしっかりと聞いて、自らの考えと結びつけながら、さらにまとめをすることで論理的な思考力が育ちます。自分で考えて学習を突き詰めることで、理解を深めることができます。

質問紙調査分析4(中学校)～質問紙の傾向と正答率～

【選択肢】 1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【35】「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

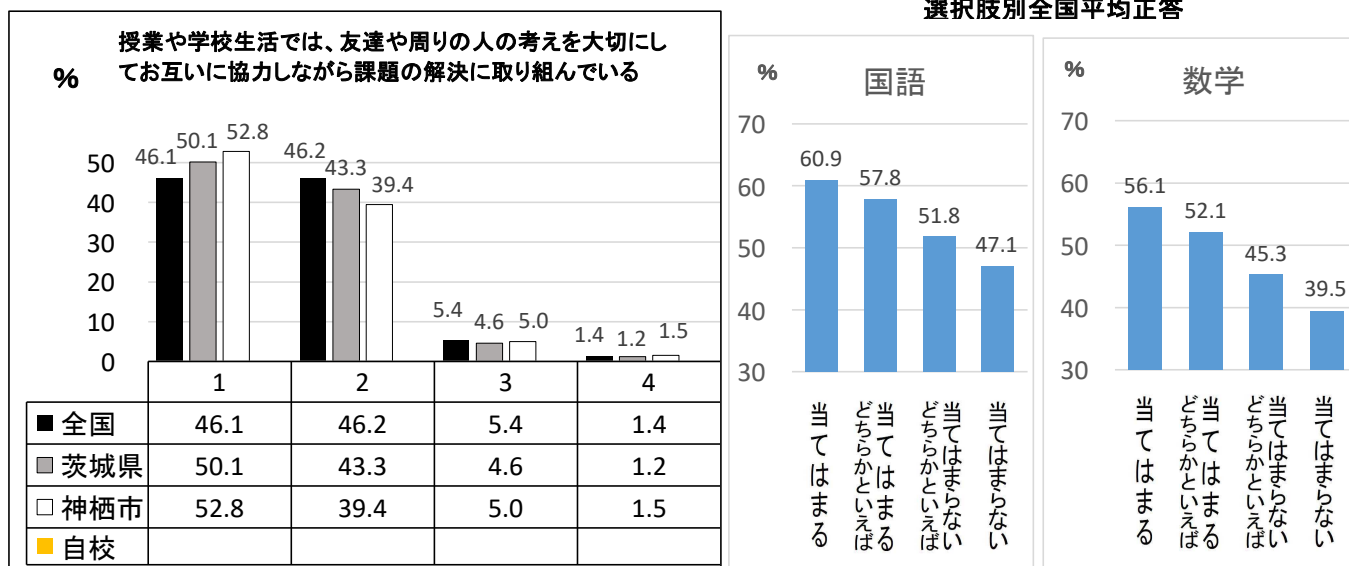
選択肢別全国平均正答



神栖市の生徒は、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した割合が81.4%で全国と比べて2.4ポイント高く、正答率も高くなっています。生徒が既習の知識や技能を活用し、思考・判断・表現しながら課題を解決する学びは、学力の向上につながると言えます。教師は、生徒に、既習の知識や経験したことを使い自力解決できる学習課題を用意する必要があります。また、何を学び、何が分かったのか、何ができるようになったか、どう考え、どうしたことが解決につながったのかなど、学びの意味や価値を理解できるように学習過程を振り返ることで達成感や自己の成長、学力の向上を実感できることが大切です。

【37】「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国と同様に高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

選択肢別全国平均正答



神栖市の生徒は、「友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した割合が92.2%で全国の値と同様に高く、正答率も高くなっています。このことから、「協働的な学び」の充実が学力の向上につながっていると言えます。ラーニングピラミッドによると、学習内容の平均記憶率は、教師の話聞く授業では2週間後に5%ですが、他の人に教えると90%になり記憶率は18倍も変わります。教師の話聞く受動的な学習よりも、自力解決する学習、他の人に教えたり他の人の考えを理解したりするグループワーク、複数の考えを統合・発展させるクラスワークを行う必要があります。協働的には、自分から周りに働きかけるという意味があり、チームワークやリーダー性を養い、学びに向かうよりよい集団をつくることができます。